

委員会報告(文教厚生委員会)

令和5年度土岐市一般会計予算 所管部分

質疑 民生費の医療的ケア児保育事業について、どのような体制で受け入れるのか。

答弁 泉こども園において、看護師を配置し、医療的ケア児2名の受け入れ体制を整備する。

質疑 保育園等で非正規職員が担任を受け持つ状況は改善されているのか。

答弁 正規職員を採用することにより徐々に改善されつつある。

質疑 放課後等デイサービス利用者の増加を見込む要因は。

答弁 市内で一箇所事業所が増え、近隣市でも事業所が増えているため、新規利用者の増を見込んでいる。

質疑 地域子育て支援拠点施設を設置した効果は。

答弁 利用者も年間2万人程度見込み、利用拡大が相談支援に結びついている。

質疑 衛生費のグリーントランスフォーメーション推進事業の地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、どのような計画となるのか。

答弁 温室効果ガス排出量の削減目標を定め、それを達成するための地域の実情に応じた対策・施策を計画する。

質疑 新エネルギーシステム設置補助金の補助内訳は。

答弁 次世代自動車充電システム設置補助金が、10万円を5台分、エネファーム機器設置補助金が、10万円を2台分見込んでいる。

質疑 し尿処理施設整備方針検討業務について、どのような検討を行うのか。

答弁 衛生センターの施設老朽化や、人口減少による搬入量減少が課題となっており、施設のあり方や、し尿処理方式の基本的な考え方を検討する。

質疑 教育費の部活動地域移行コーディネーターについて、どのような役割を担うのか。

答弁 保護者、指導者やスポーツ団体と連携を図り、部活動の地域移行に向けたコーディネートを行う。

質疑 通学路防犯カメラ設置事業について、何か所の設置を予定しているのか。

答弁 濃南地区と駄知地区への設置を予定している。

質疑 きめ細かな学校支援事業について、ICT支援員、教科専門教師は何名配置するのか。

答弁 ICT支援員、教科専門教師それぞれ3名の配置を予定している。

質疑 外国人児童生徒コーディネーターは、どのような役割を担うのか。

答弁 初めて外国から来た児童生徒に対して、日本の生活や日本語について初期指導を行う。

質疑 伝統文化公演事業について、どのような事業を行うのか。

答弁 中馬馬子唄、曾木打囃子、駄知歌舞伎など伝統文化継承団体の活動を市民に紹介できるよう文化プラザで事業を行う。

質疑 放課後教室について、アフター・コロナで利用者増が見込まれるが、指導員等体制に問題はないのか。

答弁 既に利用者数は回復しており、それに見合う指導者を配置している。

討論 保育士等の非正規職員の担任については、喫緊の課題として解消すべきである。放課後教室については、アフター・コロナによる利用者増を踏まえ、職員体制の強化が必要である。また、所管外であるが、泉北部レクリエーションゾーン整備事業について、物価高騰で市民生活が苦しい状況の中で、レジャー施設への投資に疑問がある。福祉、教育の充実に優先的に予算配分すべきであり、この予算に反対する。

令和5年度 土岐市国民健康保険特別会計予算

- 質疑** 被保険者数の推移は。
- 答弁** 令和4年度は10,772人、令和5年度は9,944人を見込んでいる。
- 質疑** 一人当たりの保険料はどのようになるのか。
- 答弁** 事業費納付金のうち、後期高齢者医療への支援金が増加しているため、その分保険料は上昇する。
- 討論** 物価の高騰により生活が苦しい状況であるため、保険料を引き下げるべきであり、この予算に反対する。

令和5年度土岐市介護保険特別会計予算について

- 質疑** 第1号被保険者数はどのように見込んでいるのか。
- 答弁** 被保険者は減少傾向であり、令和4年11月時点で18,159人、令和5年度18,107人を見込んでいる。
- 質疑** 保険給付費が前年比減額となる要因は。
- 答弁** 高齢者人口の減少に伴う介護認定者及び要介護認定者の減が主要因である。

令和5年度土岐市病院事業会計予算について

- 質疑** 総合病院の医師と看護師の確保の見通しは。
- 答弁** 指定管理者からの令和5年度計画書では、常勤医師が28.5人、非常勤医師が10.7人。看護師は、正規職員121人、非常勤職員11.6人となっている。
- 質疑** 老人保健施設やすらぎの利用者の目標数値は。
- 答弁** 1日当たりの利用者は、入所が26人、短期入所が3.4人、通所リハビリテーションが13.3人と計画している。
- 意見** 利用者ニーズからするとかなり低い利用率であるため、利用率向上について、市として働きかけをしていただきたい。
- 答弁** ニーズに即した運営を行えるよう指定管理者へスタッフの確保を含め、働きかけていきたい。
- 質疑** 駄知診療所について、常勤医師が退職したことにより、週5回から週3回、午前中の診療となっているが、地元からも議会へ請願が出されており、診療体制の充実を図るべきではないか。
- 答弁** 1日当たりの患者数が8人と減ってきている中、患者の受け入れ体制に支障がないよう診療体制を維持している。
- 討論** 駄知診療所について、地元から請願が出されている中で、診療体制が改善されないのは納得ができない。老人保健施設やすらぎについても、介護需要が高いが利用者数が少ない状況で、地域医療の充実を図る観点から、この予算に反対する。

土岐市三世代ふれあい館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

- 質疑** 廃止について、利用者の意見は十分考慮されているのか。
- 答弁** 十分地元と調整した上で、廃止するものである。

土岐市憩いの家設置及び管理に関する条例を廃止する条例について

- 質疑** 利用者の意見は十分考慮されているのか。
- 答弁** 利用団体等からヒアリングを行い、他施設での利用を調整するなどし、廃止については同意いただいた。

土岐市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

- 質疑** 保険料軽減措置における所得判定基準の引き上げにより影響を受ける世帯は何世帯か。
- 答弁** 令和4年度のデータを基に試算した場合、2割軽減から5割軽減となる世帯が22世帯、新たに2割軽減の対象となる世帯が36世帯である。

委員会報告(総務産業建水委員会)

令和5年度土岐市一般会計予算 所管部分

- 質疑** 総務費の広報配布経費について、配布に係る自治会への謝礼金はいくら位か。
- 答弁** 年間1件560円である。
- 質疑** 地籍調査事業について、進捗率はどの位か。
- 答弁** 市全体の進捗率は、令和4年度末で17.11パーセントであるが、人口集中地区では、約55パーセントとなる。
- 質疑** ふるさと応援寄附金について、7億円の収入を得るために約4億円の経費が掛かっているが、経費を抑えることはできないのか。
- 答弁** 様々なポータルサイトを利用することで、広く地場産業や地域資源をPRすることができるため、費用対効果はある。
- 質疑** まちなか居住に向けたポテンシャル調査について、対象とする地域はどこで、どのような調査をするのか。
- 答弁** 駅周辺地域において、住み続けたいと思える住環境、にぎわい、活力のあるまちの再生に関する可能性を模索する。
- 意見** 若手職員の企画力を活用して事業を進めることを要望する。
- 質疑** 市制70周年記念事業について、どのような準備をする予定なのか。
- 答弁** 令和7年の市制70周年に向けて、ロゴマークやキャッチコピーを市民から募集する予定である。
- 質疑** デジタルトランスフォーメーション推進事業について、総務省のDX推進計画の重点取り組み事項として、自治体の業務システム改革がうたわれているが、進捗状況は。
- 答弁** 進捗状況に応じ必要な予算を計上し、目標に向け順調に進めている。
- 質疑** 婚活補助金は何回の開催を見込んでいるのか。
- 答弁** 市民団体が実施する事業に対して2回分の開催を見込んでいる。
- 質疑** 定住促進奨励金は、何件を見込んでいるのか。
- 答弁** 80件を見込んでいる。
- 質疑** 共助のまちづくり事業について、補助対象はどのようなものか。
- 答弁** 地域集会場整備、自治会が実施する新規事業や、近隣町内会と連携したイベントの開催等である。
- 質疑** 農林水産業費の中山間地域等担い手育成総合対策事業補助金と集落営農活性化プロジェクト促進事業補助金は、どのような団体に補助するのか。
- 答弁** 既存の営農組合が法人化されることによって、補助対象となるものである。
- 質疑** 危険木伐採事業補助金について、何件の補助を見込んでいるのか。
- 答弁** 1件50万円で、10件の補助を想定している。
- 質疑** 商工費のどんぶり会館25周年記念イベント事業について、どのようなイベントを想定しているのか。
- 答弁** 陶磁器試験場や指定管理者と連携しながら、どんぶり会館へ人を呼び込むイベントを秋ごろに開催する予定である。
- 質疑** 販売戦略等チャレンジ協議会負担金について、販売収益で出店にかかる経費を賄うことはできないのか。
- 答弁** イオンモール土岐内の美濃焼ショップについては、美濃焼のPRを重視した出店となっており、要綱において3年間負担することとしている。
- 質疑** 泉北部レクリエーションゾーン整備事業について、テントサイトはどの位の規模となるのか。
- 答弁** 基本計画策定中であるが、オートキャンプを含め、80サイトを想定している。
- 質疑** 地域資源活用推進事業について、計画の策定スケジュールは。
- 答弁** 令和4年度に地域資源を掘り起こす調査業務を実施し、令和5年度はその資源を活用する事業案の検討をする。

質疑 土木費のへい獣処理委託について、どのような業務を委託するのか。

答弁 土日祝日に、市道・河川等に犬猫等の死骸があった場合、これまで職員が対応していたが、その業務を民間に委託する。

質疑 陶元浅野線道路新設事業について、進捗率はどの位になるのか。

答弁 詳細設計の段階で不確定であるが、予算ベースで80パーセント程度と見込んでいる。

質疑 消防費の消防職員の人員について、現在75人であるが、同規模の自治体と比較が少ないと思われるが、どのように考えているのか。

答弁 75人は適正であると考えている。

質疑 女性消防士に限定した募集はしないのか。

答弁 女性消防士限定の募集はしないが、募集は男女問わない。

質疑 消火栓設置工事について、何か所の設置を予定しているのか。

答弁 消火栓の新設を5か所、地上式から地下式に変更するものを3か所、道路工事等による移動を25か所予定している。

質疑 消火栓の設置基準はどのようになっているのか。

答弁 距離感覚は140メートルで、形状に合わせ判断し設置している。

令和5年度土岐市駐車場事業特別会計予算について

質疑 駐車場事業収入を増額で見込んでいるが、それぞれの駐車場利用台数をどのように見込んでいるのか。

答弁 駅前8,800台、駅北90,000台、駅西92,000台、駅前広場58,000台、合計248,800台を見込んでいる。

令和4年度土岐市一般会計補正予算（第11号） 所管部分

質疑 農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金について、どのような工事を実施するのか。

答弁 大富池の堤防の耐震改修を実施する。

土岐市三国山キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 ログハウスを解体することにより、バンガローは何棟になるのか。

答弁 5棟となる。

土岐市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 現状の障がい者減免の対象者は何名か。

答弁 令和3年度が11件、令和4年度は2月時点で14件である。

土地の処分について

質疑 売却金額は適正であるのか。

答弁 鑑定評価に基づいた適正な価格である。